岩手県立盛岡視覚支援学校　学校通信　～地域とともにある学校を目指して～

コミュニティ・スクール通信

第６号　令和８年 11 月４日（水）発行

文化祭をとおして広がった「つながりの輪」

～地域や関係者とともにつくる文化祭への挑戦～

10 月 24 日、「百花繚乱 ～みんなが主役、未来へはばたけ文化祭～」をテーマに、令和８年度の文化祭を開催しました。幼児児童生徒数の減少に伴い、学校行事の在り方も大きな転換期を迎えている中、本年度は地域や関係団体の皆様のお力をお借りしながら、新しい形の文化祭づくりに挑戦しました。

ステージ発表では、北山伝統芸能保存会の皆様による「北山さんさ」を披露していただき、会場を華やかに盛り上げていただきました。販売活動では卒業生も利用する福祉事業所の皆様にご参加いただき、作品や製品を通して交流を深める機会となりました。また、視覚支援機器の展示・紹介や参加型音楽鑑賞会など、多くの関係者の協力によって文化祭の内容が一層充実したものとなりました。

幼小学部や中学部の発表では、一人一人がこれまでの学習成果や得意なことを堂々と発表し、販売活動やお茶会、マッサージ体験などでも、中学部・高等部の生徒が多くの来場者との関わりを通して自信や達成感を得ることができました。

少人数だからこそ、学校だけで完結するのではなく、保護者、地域、卒業生や関係機関と手を携えながら行事を創り上げることは、本校の新たな可能性を広げる取組であると感じています。







理療科　大船渡マッサージボランティア活動・震災学習

理療科１～３年生７名は、10 月 8 日から 9 日にかけて、大船渡市でマッサージボランティア活動を行いました。１年生は座位、２・３年生はベッドでの施術を担当し、多くの方々との交流を通して学習の成果を発揮しました。施術後には「人の手は温かいですね」「今年も来てくれてありがとう」などの温かい言葉をいただき、生徒たちにとって大きな励みとなりました。今回の活動を通して、生徒たちは地域とのつながりや人を支えることの喜びを学ぶとともに、東日本大震災の教訓を改めて心に刻むことができました。実践と学びの両面で、大変意義深い２日間となりました。



修学旅行で広がった世界







高等部では、大阪・京都方面への修学旅行を実施しました。出発前には台風の接近も心配されましたが、旅行期間中は天候に恵まれ、充実した３日間を過ごすことができました。

今回の修学旅行では、生徒一人一人が興味や関心に合わせて自主研修を企画し、それぞれが自ら立てた計画に沿って活動しました。日本で最も古い現役のエレベーターに乗車したり、歴史や文化に触れる施設を訪れたりするなど、自分の「知りたい」「やってみたい」を実現する機会となりました。大阪南視覚支援学校との交流では、フロアバレーボール部の練習に参加し、全国大会での活躍を目標に日々練習に励む生徒同士がともに汗を流しました。

初めての場所や新たな出会い、そして自ら計画した活動への挑戦を通して、多くの学びと経験を得ることができました。修学旅行で広がった世界は、生徒の自信と今後の成長につながる貴重な財産となりました。











10 月６日、幼小学部では ASOBASE とイオンモール盛岡へ遠足に出かけました。

ASOBASE では、滑り台やボルダリング、ブランコ、ボールプールなどの遊具で思い切り体を動かしました。大きな滑り台を滑ったり、網の上を渡ったり、それぞれがお気に入りの遊びを見つけて、笑顔いっぱいで楽しむ姿が見られました。

昼食はイオンモール盛岡のフードコートでとりました。ハンバーガーやたこ焼き、ヨーグルトなど、自分で選んだメニューを友達や先生と一緒に味わい、おしゃべりにも花が咲きました。

中学部では、９月 30 日と 10 月１日に校外学習を実施し、それぞれの学習テーマに沿って活動しました。



一つのグループは遠野市を訪れ、「昔を知る・体験する」をテーマに学習しました。とおの物語の館では語り部の方から民話を聞き、昔の建物の見学を通して遠野の歴史や文化に触れました。昼食は道の駅遠野風の丘でとり、秋晴れの景色とともに遠野の魅力を満喫しました。

もう一つのグループは、東北ターボ子ども科学館と奥州宇宙遊学館を訪れ、宇宙や科学について学習しました。プラネタリウムや展示見学では、惑星の大きさや重力の違いを体験的に学び、宇宙の不思議に触れることができました。また、直径 20 メートルの電波望遠鏡を間近で見学し、最先端の研究について理解を深めました。

